

大あんどんの絵 20年ぶり新しく

瀬戸「お太子まつり」

瀬戸市塩草町の万徳寺で二十三日に開かれる「お太子まつり」で、毎年展示されている大あんどんの絵が約二十年ぶりに新しくなってお目見えする。写真。

「お太子まつり」は聖徳太子の遺徳をしのぶ祭り。例年、聖徳太子の一生を描いた横三辺、高さ一辺、奥行き〇・五辺の四角いあんどん四基を、檀家たちが展示している。今年から、同市穴田町の日本画家丸山優さん(七四)



いた掛け軸四幅を基に制作した。二歳から、没したとされる五十一歳まで八つの年齢を取り上げて聖徳太子の業績を説明している。

檀家の松原良滋さん(七〇)〓西松山町〓は「大あんどんを通して、掛け軸の存在や祭りの由緒が、同寺が所蔵している聖徳太子の生涯を描いた」と話した。